

津山市教育委員会通信

【津山市教育委員会】

〒708-8501 津山市山北520

電話：0868-32-2112（教育総務課）

Eメール：kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

令和4年度 教育長あいさつ

『自立し 心豊かにたくましく つなぐ力を育む』 第3期 津山市教育振興基本計画がスタートします

津山市教育長 有本 明彦

新型コロナウイルス感染症は、未だ収束が見通せない状況が続いていますが、令和4年度がスタートいたしました。小中学校におきましては、引き続き感染防止対策を徹底しながら、児童生徒が安心して学校に通い、確かな学びが継続できるよう努めてまいります。

さて、本年度は、「第3期津山市教育振興基本計画」のスタートの年です。計画には、本市の教育基本理念を『自立し 心豊かにたくましく「つなぐ力」を育む』と定め、具体的な取組を進めてまいります。そして、様々な学びや体験を通して、自らの将来を自らの力で切り拓き、将来地域や社会に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。

一方で、今日子どもたちを取り巻く環境は、年々多様・複雑化し、教育は、学校だけでは成立しにくい時代になっています。今まさに、地域と学校がパートナーとして、連携協働しながら、地域とともにある学校づくりを展開する必要があると感じています。

私自身としては、常日頃から、学校・家庭・地域の三者が、お互いの立場や思いを理解しながら、協働して、『何事にも前向きに挑戦する意欲と優しさを持った心豊かな子どもたち』を育みたいと思っています。

今年度も、住民並びに保護者の皆様には、本市教育の更なる充実に向けて、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年4月

※第3期津山市教育振興基本計画の内容については、是非教育委員会ホームページをご覧ください。



マルイ・エンゲージメントキャピタルからの寄附について

2月1日、特定非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタル（理事長松田欣也氏）から、市内小学校で活用するためのプロジェクトなどのICT機材、新一年生児童の登下校安全対策として防犯ベル、学校図書等への寄附を受けました。これまでも多くのご寄附をいただいております、今回で11回目になります。

【寄付内容】

金 200万円

防犯ベル 950個（845,500円相当）

短焦点プロジェクト等の機材（3,059,408円相当）

（合計 5,904,908円相当）

今回寄贈いただいた物品等を活用し、これからも、ICT教育の推進と子どもたちの健全な育成に努めてまいります。

寄附贈呈式の様子



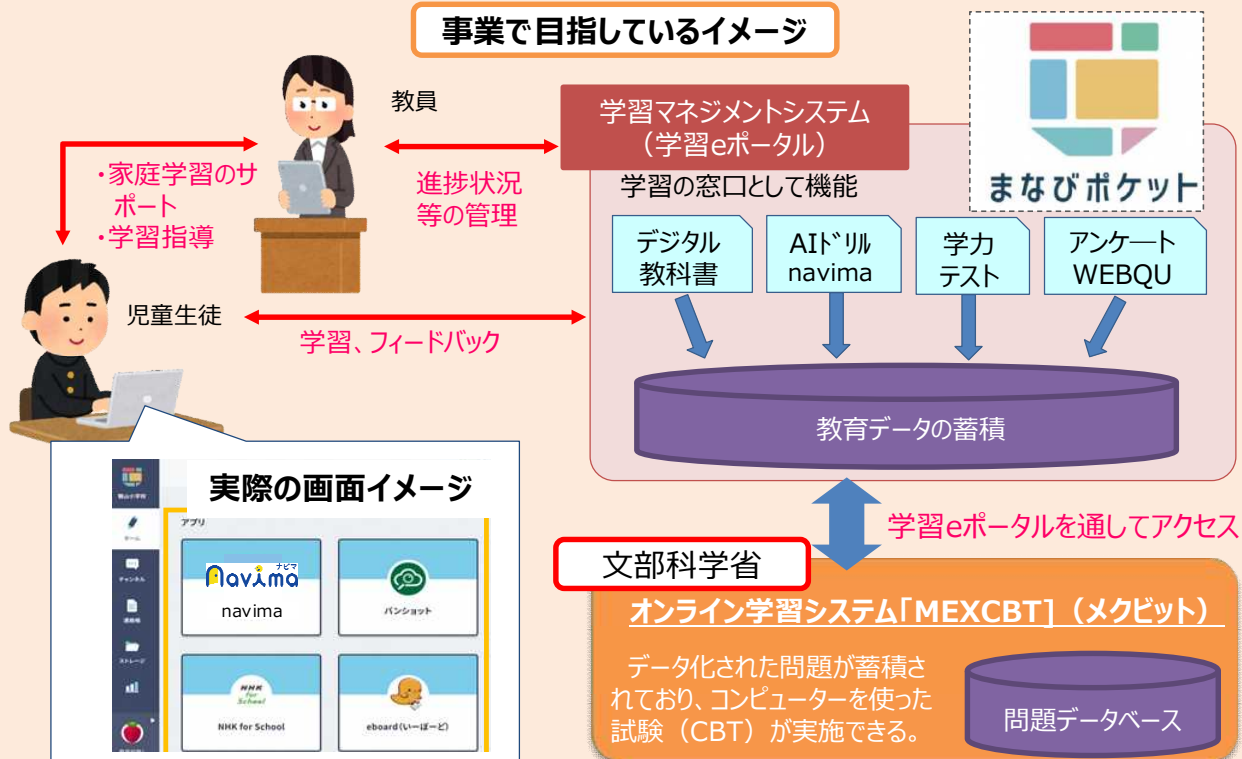
ICTを活用した「学びの見える化」への取り組み推進中！

児童生徒用端末の活用が進む中、津山市では、NTTグループとの連携事業において「児童生徒の学びの見える化」に取り組んでいます。

この事業では、児童生徒個々の学習記録などを教育データ化として蓄積し、得意なことや苦手なことがより具体的に見えるようにすることで、学習の進捗状況の管理や学習指導をより効果的に進めるとともに、AI搭載のドリル教材等を活用しながら個別最適化された学びのサイクル構築を目指していくものです。

今後、データ化した学習記録などを活用し、個々の状況に応じたより効果的な指導や授業改善につなげていくための方策を検討していきます。

事業で目指しているイメージ



令和4年4月から全校導入する「学習eポータル」と「AIドリルnavima」

【学習eポータル】(まなびポケット)

①学習の窓口機能

様々な学習ツールと連携できるため、各ツールを利用する際の都度のパスワード入力等不要

②データ集約機能(拡充予定)

様々なツールの学習データを蓄積・集約できる機能をもつ

【AIドリル教材「navima」】

東京学芸大学との研究事業で開発協力を行ったAIが搭載されたタブレット用ドリル教材。

問題を解いていくことで、**苦手な分野をAIが自動的に判断し**、個々に合った問題が出題される機能を持つ。

タブレットを使った学カテストにも挑戦！

国が将来的に学力調査等で活用する方針の「CBT(コンピューターを使って実施する試験)」について、学びの見える化事業のモデル校である「鶴山小学校」と「勝北中学校」で実施しました。

事前に用意されたテスト(国語・算数(数学))にタブレットで取り組み、CBTの良さや難しい点に触れました。

今回実施した教員や児童生徒の声を聞きながら、今後の導入が決定された際の課題解消などに努めていきます。

CBTで期待される点

- ①結果が即時にわかる(採点不要)
- ②データを蓄積して今後活用できる

